

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 48 週（ 2024/11/25～12/1 ） 感染症発生動向調査速報値（ 2024/12/4 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **54** 人、定点医療機関当たり **1.13** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

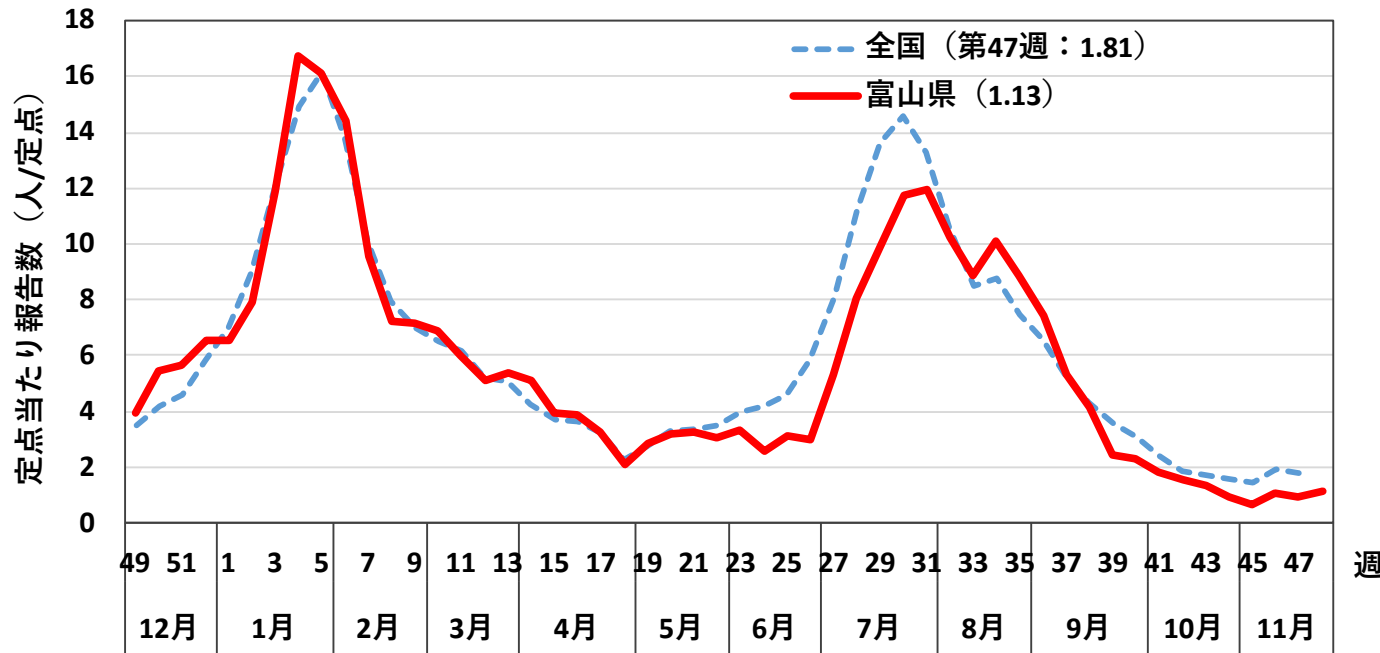
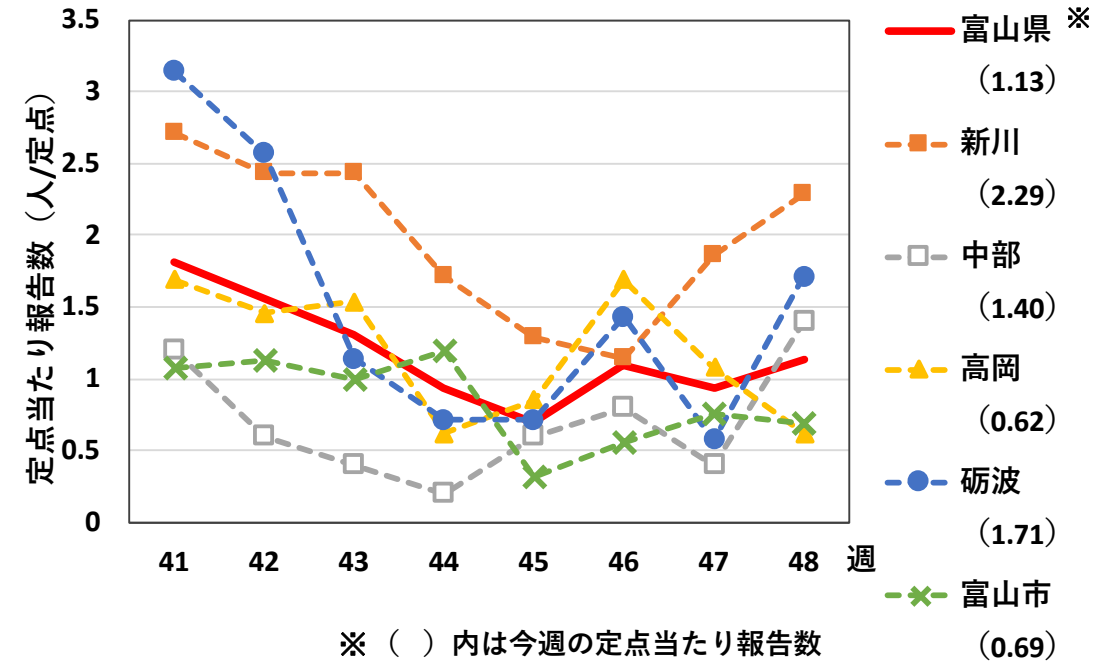


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移

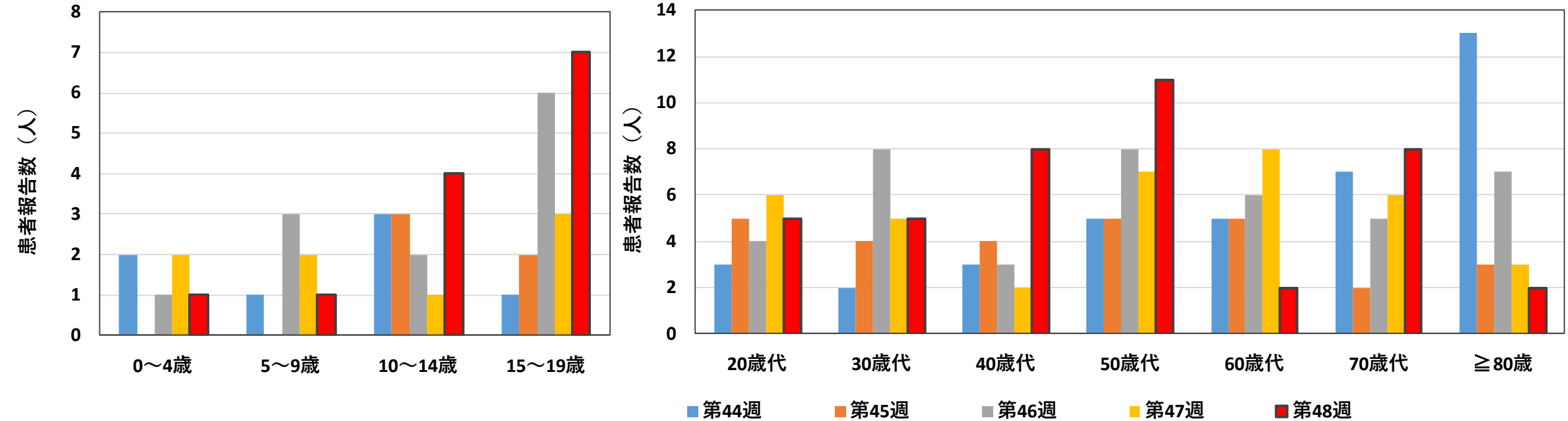


- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は1.13人/定点であり、先週（0.94人/定点）から増加した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、高岡管内で減少した一方、新川、中部、砺波管内で増加した（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～9歳、20歳代、60歳代、80歳以上が先週から減少したが、10～19歳、40歳代、50歳代、70歳代は増加した。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

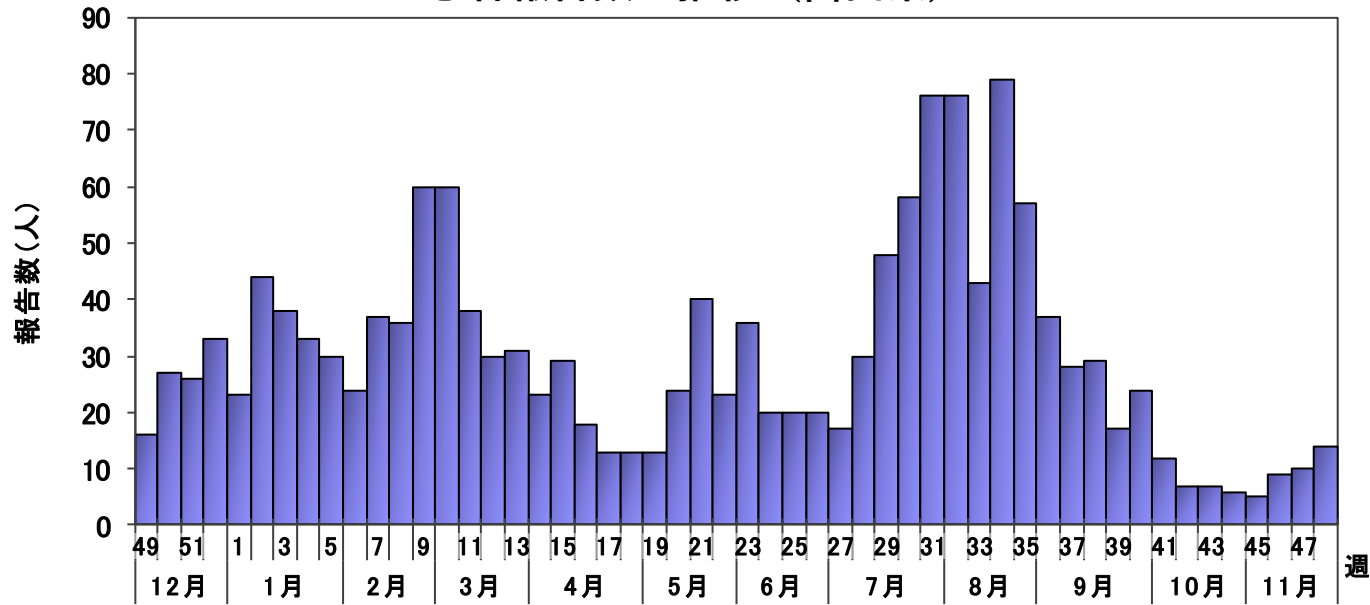
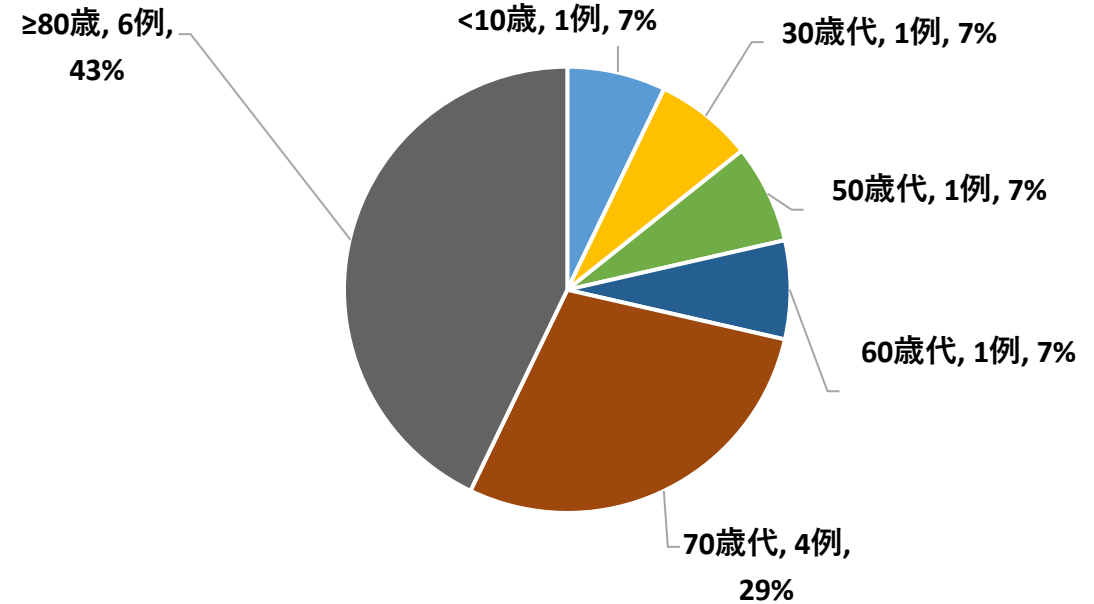


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第48週、14例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第48週に14例の入院報告があり、先週（10例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、10歳未満、30歳代、50歳代、60歳代が各1例、70歳代が4例、80歳以上が6例で、70歳以上が72%を占めた（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第35週以降減少傾向の後、第45週以降下げ止まった状況となっている。一方、入院サーベイランスでは第46週以降緩やかな増加が認められている。昨シーズンは1～2月にかけて報告数が増加したこともあり、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。